

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 596	122	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 41	26	ヘルパンギーナ	→ 1	1
咽頭結膜熱	↗ 37	21	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 24	19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗ 57	26	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↗ 640	350	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 20	11
水痘	↗ 119	110	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 37	28	無菌性髄膜炎	→ 0	0
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 2	0	マイコプラズマ肺炎	↗ 5	2
突発性発しん	↗ 31	20	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- インフルエンザ
- 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 640件(前週報告数 350件)と増加。地区別では、山鹿、菊池、人吉に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の108件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- インフルエンザは、報告数 596件(前週報告数 122件)と増加。地区別では、山鹿、有明、天草に多く報告がみられます。年齢別では、10～14歳の75件を最多に幅広い年齢層からの報告です。
- 水痘は、報告数 119件(前週報告数 110件)とやや増加。地区別では、八代、有明、菊池、宇城に多く報告がみられます。年齢別では、2歳の31件を最多に10～14歳以下からの報告です。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
熊本市保健所	117	11	16	26	149	34	11		13			6		18				2
山鹿保健所	44				66	4			3				*	*				
菊池保健所	77	15	12	11	115	15	2	1	7			1		1				
阿蘇保健所	25			2	16						1		*	*				
御船保健所	20				15	3							*	*				
八代保健所	70	6	1	5	42	17	4		1									
水俣保健所	9	1	1	3	11	1			4				*	*				
人吉保健所	15	1		4	63	4			1			1	*	*				
有明保健所	94	4	3	1	62	19	6	1	1					1				
宇城保健所	46	2	2	4	46	12	2		1			2	*	*				
天草保健所	79	1	2	1	55	10	12					14						3
計	596	41	37	57	640	119	37	2	31	0	1	24	0	20	0	0	5	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5カ月	6～11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上
インフルエンザ	596	3	13	29	33	30	28	24	24	21	19	11	75	37	54	72	46	47	12	10	8
小児科定点年齢	合計	0～5カ月	6～11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上						
RSウイルス感染症	41	9	13	8	11																
咽頭結膜熱	37		4	13	4	6	1	1	2			1	3		1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	57			1	3	9	6	7	11	8	8	1	2		1						
感染性胃腸炎	640	7	35	94	52	48	36	28	33	25	27	33	108	20	94						
水痘	119	2	9	30	31	19	7	9	5	1	2	2	2								
手足口病	37	1	2	24	5	2	1	1							1						
伝染性紅斑	2			1				1													
突発性発しん	31	2	12	13	3	1															
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	1												1								
流行性耳下腺炎	24			1	2	2	8	3	3	2	1	1	1								
眼科定点年齢区分	合計	0～5カ月	6～11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	20													3	4	6	1	1	3	2	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	5			1	1									1			2				
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生  
又は継続しつつある地域

- 感染性胃腸炎:山鹿、菊池、人吉
- 咽頭結膜熱 :菊池

インフルエンザ 急速に流行拡大!!  
感染性胃腸炎 再び増加!!

◆インフルエンザを予防するために

- ①手洗い・うがいを習慣づける
- ②流行時には人混みを避ける
- ③栄養、休養、睡眠を十分に取る
- ④部屋の換気と保湿に心がける

◆インフルエンザにかかったら

- ①早めに医療機関を受診し治療を受ける
- ②学校や職場へは無理して行かない
- ③水分を十分に補給する
- ④咳エチケットを心がけ、外出を控える

【感染性胃腸炎、再び増加】  
感染性胃腸炎は、平成24年第49週をピークに減少していましたが、今週は再び増加しました。前週、県内全ての地域で警報レベルを脱しましたが、山鹿、菊池、人吉は再び警報レベルを超えました。引き続き、注意が必要です。